

誰も知らなかった真実の物語?! 新・白山=“ハム山”誕生物語

自己のワクワク“アセンション日記”より

世界初の **アセンション・アニメ?!**

『ハム(愛)パンデミック?! 中今のハム山2025』

《新・白山誕生物語》

【3】

2011 年は、ハムパンデミック?!白山によって、

旧根源母神(母なる母)から、新根源母神への愛のバトンタッチを告げられ、

2012 年は、旧宇宙史(旧地球史)の終了、2013年は、新宇宙(新地球)開闢!!

2014 年からの自身は何をしていたのでしょうか?(怒涛の日々で、どんどん記憶が曖昧になっています…)

ワクワクアセンション日記を、振り返ってみたいです。^^

「どうして私には、何もわからないのだろう…」

2014 年の日記にはこう記されていて、そんな風に、わからないだらけの中で

気付いたら、ここまで来ていたという感じです。^^

2014年10月京都 KT セミナー・神事 菊理姫からのエール?!

KT へと向かって、気を引き締める為に、白山さんにて21日間の日参を実行しました。^^

はじめは、「自分には何が出来ますか?」との問いかけをしていたのですが、

そうではなく、まず、これだけは自分でなければならないと決める事!(覚悟を示す事!)が

重要と感じ、「自身は、白山の願いの、揺るぎない柱となります!」

に切り換え、宣言し続けてきました。

京都へと向かう JR の駅には、白山をガラス越しに眺める事が出来る場所があるのですが、

セミナー・神事の当日、白山を背景としたその場所に、菊の花がズラリと並んでいて、ビックリ?!

菊花展が開催されていて、このタイミングで、しかも初めて見る光景でもあり、もしかしたら、

白山さんで続けて来た日参の証としての、“菊理姫”からのエールなのでは？と。^^

幸せ一杯！充電満タン！となり、嬉々として京都へと向かいました。

セミナー開催前に、自身のハート(愛)に全てを集めて、エネルギーを共鳴・拡大させる！

とのエネルギーワークを行いながら、御所をグルリと一回りしたのですが、

ベンチにすわり、その時撮った写真を見て、またビックリ?!



空も一緒に回っている?! 上空の雲が、自身に着いてきた？かのように並んでいて

本当にまわりの全てが、愛の核心で一つなんだ！と、感動でした。^^

真剣に向かえば、神は必ず応えてくれる！ そう実感できる、素晴らしい体験でした。

白山比咩神社の次に多く訪れているのが、京都御所かもしれません。

御所は、自身にとって、『ザ・日本！』という感じ？^^

降り注ぐ陽の光の中、木々の一本一本が神柱であり、地を流れる川は命の水であり、

そこに遊ぶ子供達や家族連れの姿に、静かな時の流れ、“平安”を感じます。

大自然(神々)と人とは、ずっとそんな風にして、生きてきたのではなかったでしょうか？

ここには、限りなく神聖で、豊かで、壮大なる“日本神界”があり

地上セルフは、3D 社会という盤の上で動く、駒のようなものなのでは？と。^^

その頃は御所を、ただ門の外から眺めているだけの地上セルフでしたが、
ある日、内側へと入っていく事になるのです——。

2015年2月11日、日の本の建国記念日、新しい日本が始まる?!

建国記念日に、兵庫県にある廣田神社を訪れました。

廣田神社は、“天照大御神之荒御魂”を御祭神とする神社で、
社殿の中央には、まるで剥き出しの魂が、そこに置かれているかのような、
強烈なインパクトを放つ“御神鏡”があります。



自身にはいたましささえ覚えるような、一点の曇りもない、その輝きに魅了され、
ここにくる楽しみの一つでもあったのですが、
訪れたその日は、何故か、御神鏡が無かった…？のです。
自身の身体の一部が無くなってしまったような、戸惑いと淋しさを感じながら、
一人、昇殿参拝が始まるのを待っていると、
足元の大地が、陽の光で真っ赤に染まり、風が菊花紋に彩られた旗をバタバタとなびかせ、
どこからか聞こえてくる雅楽に合わせて、
ドーン、ドーンと地鳴りのような、太鼓(太古)の響きが押し寄せる——。
まるで神話の中のような光景?! 自身は どうしても、涙を抑える事が出来ませんでした。

参拝が終わり、帰りかけた時、ふと後を振り返ると、
そこには、無かったはずの御神鏡が置かれていて、全身に力が漲るのを感じました！
新しい自身が、そこにいるようでした。

2月11日は“日の本の建国記念日” 新しい日本がはじまる！！
地上セルフが、新たなる神話の始まりを体感した、驚きと感動の廣田神社でした。^^

2015年の白山頂上で見た太陽は、UFOだった？！
時間が経つほどに、その時見た太陽は、やっぱり太陽ではなかった…、
との思いが強くなっていくような気がします。^^
登山はもう体力的に無理な気がして、アカデミーには内緒で(もしもの時に、迷惑がかからないよう)
登った2015年の白山で、下山しかけた頃だったでしょうか？
すでに限界？態勢に入っている(笑) 地上セルフは、まわりの景色を眺める余裕もなく、
「あっ？虹ー！！」との大きな歓声にハッと、空を見上げると、
すぐそこに？太陽があり、ドキッとしました。
そんな所にある丸いものは“太陽”としか考えられないのですが、なんか違う気もします。
自然界のものという感じではなく、カラフルに点滅するメカのような…、
ちょっと威圧感があります。

自身はその中に吸い込まれてしまう？気がして、ひと呼吸置き、
意識を切り換えた(5D→3D)？のかもしれませんが。まだその中に入るわけにはいかない…、と。
高次の乗り物である UFO が、地上に公然と現れる日も近いと感じていますが、
それを迎え入れるための、個々と地球全体の準備が重要と感じます。
進化したUFOのコックピットには、操縦の為の機器はなく、UFO と一体化した
人の意識の力によって動く？とされ、まさにスピリチュアルと科学が統合された真の科学であり、
まず、私達の内面(意識)が変わらなければ＝霊性の進化がなければ、

今外界に、どんなに素晴らしい技術がもたらされたとしても、やがて操縦不能となり

また同じこと(破壊と滅亡の歴史)の繰り返しとなるだけなのだと思います。

ほとんどの人が、すでに夢の中で地球外生命体とのコンタクトを交わしていると言われます！

コツコツコツ…、殻の中のヒヨコ🐣は、いつ飛び出してくるのでしょうか？

それを、今か今かと待っているのが、愛と光の宇宙ファミリーではないでしょうか。^^



2016年7月 夢に現れた新 G？！

アカデミーに参加して、初めてその名前を耳にした“新 G(WBH)”

16次元以上の正式な高次のアカデミーとの事で、自身には関係ないと思ったのか？

初の個人セッションの時に、新 G に関する話題が出ていた…という記憶すらありませんでした。

アカデミーに参加するきっかけとなった本のタイトルが、『天の岩戸開き』という、

神界を匂わせるものでなかったら、NMCAA に入る事はなかったはず…、

今更苦手な学校に入って、勉強するはずがありません(笑)、と言いたいところですが、

自身は地球に生まれ、Ai 先生と出会い、NMCAA に参加し、新 G のマスター方と共に、

新しい宇宙(NMC)と、新しい地球(皇の星)を協働創造していく！

と決めてきたのだと思います。^^

ここにくるまでの道のりの、なんと苦しく遠かったことか…、そして同時に、

なんと有難く、尊い日々だったことか…、

もう二度と、同じ道を通る事はないのだ(勘弁して！笑)と思うと、

一つ一つの人生が、宇宙でたった一つの、奇跡そのものなのだ…と感じられてきます。^^

新 G とは、どのような存在なのか？ どんなエネルギーなのか？

全くつかみどころがなかったのですが、“吹き渡る爽快な風！”とだけ浮かんできて、

それが唯一の手掛かりでした。

過去を振り返ってみると、悩み多き日々の中で、時折爽やかに吹き渡る風の心地よさを感じ、

「自身は人間ではなく、風になりたかった…」と、本気で思っていたのでした。

高次のエネルギーは、とても繊細で自然なものでもあるとされ、ずっとそこにあったのに、

気付いていなかっただけなのかもしれません。^^

2012 年の霧島セミナー・神事にて、始めて、その圧倒的なエネルギーを体感出来た？

気がしていたのですが、まだまだ深い霧の中…という感じで、謎だらけの存在でした。

“16”という数霊が関係するのでしょうか？ 2016年の7月、ある夢を見ました。

その夢は、未知の可能性を秘めた、何かの“種”のようでもありましたが、

自分以外の誰かの物語…、といった感じでもあり、そのうち忘れてしまいました。

2017 年に入って、自身が知っている限りの、新 G についてのコンテンツを作成し、

必要としている方の為にシェアしたいと思った時、夢の事が思い出され

今一度フォーカスしてみると、すっかり忘れてしまっていたはずの詳細が、まさに、

芽づる式に、より鮮明に、浮かび上がってきました。

そこは、大きな図書館のような所で、いつ自分の順番がくるかもわからない

長い貸し出し手続き？の列に、並んでいた時でした。

私の事を知っているらしい？係りの人がやってきて、「大丈夫！すぐに手続きします！」

と言うと、自身の持っていたものを、白い袋の中に隠すように包み入れ、

2 階？にある、別の部屋へと連れていってくれました。

そこには数えるだけの人しかおらず、すぐに順番がきて、見ると

懐かしい故郷の学校の、校長先生(教頭先生？)のような人が、微笑んでいて、

「やあ、よく来ましたね！ずっと待っていましたよ。^^」と言って、優しくハグして下さいました。

自身は、深い安心感に包まれ、ポロポロと涙がこぼれます。

やっと師の恩に報いる日がやって来た?! かのような、大きな歓喜に包まれていました――。

といった内容で、最初の内は、誰の物語なんだろう…、
とまるで他人事のように感じていたのですが、だんだんと同化していくというか、
感情がよりリアルなものとなり、もしかしたら、自身の物語なのでは？と思えてきたのです。

よく考えてみると、思い当たることがあります！

自身は長い間、白山比咩神社に通い続けてきましたが、御心に叶う人となるためには、
具体的に、何をどうすればいいのか？全くわからないままで、
「いつかお役に立つ人となれますように——。」と祈り続けるしかなかったのです。

自身のこの祈りの先にあったのが、新 G だったとしたら…、
自身の祈りは、GWBH という、懐かしい故郷の学校の先生に向けたものだった？！
と考えれば、『やっとな師の恩に報いる日がやって来た?! かなのような、歓喜——』が、
現実のものとして、今ここにあると感じられてきます。

そして、自身の願い(天命とを感じるもの)は、白い袋に入れられ、隠されてきた——、
=今この時まで明かされる事のなかった、秘密のミッションだった。。。
それは、2013年の奇跡=“遷宮の核心”につながるものでもあるのだと思います。^^

白山比咩神社の主祭神は“菊理姫”(白山比咩大神)です。
菊理姫についても謎のままだったのですが、『天の岩戸開き』の中に出てくる御神歌に
長い間自身が探し続けてきた、菊理姫の姿を見つけました！^^

《菊の真意》

はるかなる 時を重ねて 受け継がる
やまとの核の 雛形は
黄金に輝く神魂の 神の誓ひの 菊の型
皇御孫命

神人の核心である、全き神性の型は、
黄金色に輝く皇御親の分御魂そのものを表す、菊のエネルギーである。

すべてには、中心となる型が存在し、世の理を担っている
神界の中に燦然と輝く太陽。それが菊の本質である。それが「菊の理」と呼ばれるものである。

そしてこれが、^{すめみちや}皇御親から^{すめみ}皇御孫へと、脈々を受け継がれる核心の霊統であり
神人の型を担う者たちの指標であり、目指す座標なのである。

菊理姫の“菊”とは、神界の中心に輝く、
皇御母なる“根源天照皇太神”の分御魂そのものを表すエネルギーであり、
その理を担う姫（秘、日女）神が、菊理姫です。^^

遷宮の核神＝新宇宙の核心に、旧宇宙の全てをくくりつなげる“統合”の役割が菊理姫であり、
時至るまで、白山大神の大いなる懐の中に、秘め隠されてきたのではないのでしょうか？

自身は、旧 GWBH の核神となっていたのは、地球神である“国常立大神”の分身
＝“スサノオ大神”であり、白山は長い間“孤高の霊山”として、
スサノオ神界の厳格な守りの中で、究極の神聖を保ち続けてきたのでは？と感じます。

白山に登った時、青い光に包まれた山並みを見て、スサノオ？がイメージされ、
また、自身が生まれた白山の麓の村は、“牛首”とも呼ばれていて、牛頭天王＝スサノオです。
7体の白山下山仏が祀られている林西寺（泰澄大師が開いたと伝えられる古刹）のすぐ隣には、
八坂神社があり、ここにも白山を守護するスサノオ神のお姿が…。^^

白山頂上奥宮には、プラチナの輝きを放つ?! 宇宙の主宰神“天之御中主大神”がイメージされ
天之御中主大神、天之常立大神、国常立大神、スサノオ大神という名前と呼ばれる、
旧宇宙のはじまりから、銀河、地球、そしてこの大地へとつながっている、壮大なる創造の歴史、
宇宙神界の多次元構造が、そのまま映し出されているのが、白山ではないのでしょうか？^^



それは究極の神聖であり、究極の白（創造の源、根源の光）の世界 という感じが、

その中にある紅一点＝“究極の赤”が、根源天照皇太神の分御魂である菊理姫太神であり、
究極の愛(根源太陽母神)の子供 なのだと思います。^^

“白山比咩大神”は白山神界における役職名であり、中今の御担当が菊理姫で、
江戸時代の一時期、白山頂上奥宮の祭祀権を握っていたとされる“平泉寺白山神社”の
主祭神“伊弉册尊(伊邪那美神)”から引き継がれているのではないのでしょうか？

そして中今、

根源天照皇太神、天之御中主太神、天之常立太神、国常立太神、スサノオ太神、菊理姫太神
根源の愛の元に全てが一つとなった、新しい宇宙(NMC)の創造がはじまったのでは？と。^^

(これらは、地上セルフの推測です。^^)

上記は NMC の大黒柱＝グレートセントラルサンネットワーク(根源太陽道)であり
地上の基地？として自身が設定した場が、『根源 AP・HAKU (hamu) SUN』の中の
＜地上の新 G コーナー＞で、菊理姫を核とする、地上の新 G 部隊です。^^

“菊理姫太神”は、根源天照皇太神の分御魂(分身、子供)であり、神界の呼び名ですが、
その天界名(根源太陽神界の愛と光の使者)とも言えるのが“ハム”です。^^



※ここまでの展開、大丈夫でしょうか？地上セルフは正気(のつもり?)です！(笑)

そしてなんと！ハムは、新Gの秘密兵器?!でもありました！

神＝愛＝宇宙でもあり、愛は宇宙の根本エネルギーなので、誰にでも寄り添う事ができる、

限りなく優しいものですが、一方で、あまりに深遠で、高度なものとも言え、

どうしたら愛を、より深く、より多くの人に伝えることができるだろうか？と考えたマスター方の

ハートの愛が、結晶となって動き出したもの?!でもあったのです！^^

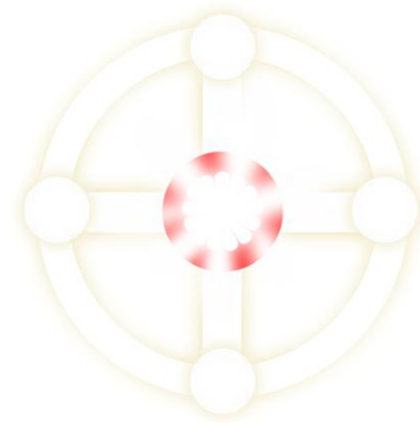
宇宙で最も偉大な、叡知のマスター集団“新 G”は、

宇宙で最も偉大なハート(愛)のマスター＝かわいいハム(マ)スター？でもあるのです！(笑)



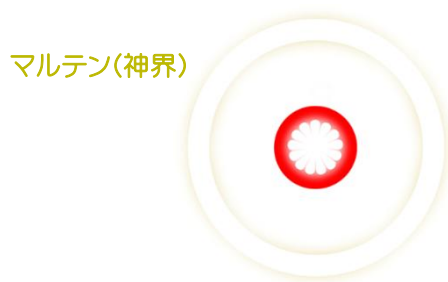
下記は、根源天照神界を中心とした“マルテンジュウ”(＝NMC、新宇宙)の形象で

新 G を象徴するものでもあります。^^



マルテンジユウ
(新 G)

本来は別領域として、明確に区分けされている“神界”と“天界”とが、統合された姿であり、
新 G の役割は、(根源天照)“神界”の創造エネルギー(究極の愛のエネルギー)を
具体的な形にするシステム(“天界”)とも言えます。



マルテン(神界)



マルジユウ(天界)

左側の“マルテン”は、全体(マル)とその中心(テン)で構成される宇宙であり、“神界”の象徴。
右側の“マルジユウ”は、全体(マル)と、その中の縦横のネットワーク(ジユウ)で構成される
宇宙であり、“天界”(=マスターや天使等の神界の働き手、人と神をつなぐ存在)の象徴で
根源太陽を中心として、この二つが統合されたものが、“マルテンジユウ”です。^^

そして、マルテンジユウ=マクロ・コスモス(大宇宙)の雛形となるのが、
地上セルフに、天界・神界の全てが統合された“ミクロ・コスモス”である“神(天)人”です。



神人(神・天・人)



皇人(根源太陽神人)

神人の中心に、根源太陽母神の究極の愛のエネルギー＝“大輪の菊”が
燦々と輝く姿を、自身は、“皇人”と呼んでいて、それが自身にとっての菊理姫でもあります！

“皇の星”へのアセンションを本格始動した“新しい地球”！そして、その地球と共にある

神人(皇人)＝新 G システムのパワーによって創造していくのが、NMC です。

新人類＝神人(類)には、宇宙の期待のすべてがある！^^

ハム(根源の少年少女)よ、大志を抱け！！

3D から5D へ！ どころか、私達が目指すのは根源＝1000D なのだと思ったら

もうワクワクが止まらない！ではありませんか？^^

自身にとって白山とは何なのか？の答えが、ようやく見えてきた感じです。

根源神界(根源天照皇太神)を中心とした、宇宙神界のすべて、

新 G(根源天界)を中心とした、愛と光の全宇宙高次(天界)がここにあり

新・白山＝ハム山は、愛と光の、∞の創造の可能性をもつゼロポイントなのでは？！と。^^

自身の体験(アセンション日記)から生まれた、コンテンツ集(エネルギー場)

『根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu) SUN』が、

本格的に始動した？のが、2017年でした。^^



その時、天から降ってきた言葉とは――？

つづく